

日刊 動労千葉

80.3.15
No. 376

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二五八九(公衆電話)七二〇七

佐倉支部の早期結成をかちとろう!

4回代表 支部

低迷する動労千葉の方針を拓確く!

動労千葉は、3月12日、10時より動力車会館において、第4回支部代表者会議を開催した。今日、「ストなし策動」をはじめ、資本、経営側の重圧と賃金抑制、切り下げの攻撃の前に、労働側の総屈服、敗北路線をひた走る現状をなんとかして克服し、80年代労働運動総体の活性化をつくり出すために、動労千葉として、いかなる路線、方針のもとに、80春闘を闘い抜くのか。さらには、そうした80春闘を具体的に闘い抜く結集軸の拡大をいかに創造してゆくのかを中心とする議論がかわされた。同時に、3月10日、動労千葉三役・執行部が参加して行われた、佐倉支部職場集会の圧倒的成功、オルグ、対話をとりして、つくりだされた、佐倉・銚子支部結成に向けた取組みの前進的局面を全体で確認し、更に全体で奮闘してゆくこともあわせて確認した。

佐倉・銚子支部の早期結成に向け、意志統一をはかる!

第3回支部代表者会議(2月1日)以降、佐倉支部執行部・本部・各支部一体となった、三次に亘るオルグ、対話活動を通して、佐倉の仲間の、マスコミ報道や「本部」反動分子のデマ情報、宣伝に対し、正しい経過と情勢認識の定着化が大きくなりだされ、流動化が生まれてきている。佐倉支部執行部は、激しくゆれ動く組合員個々の考え方や重圧の中で、日常的活動をじよじよに前進させている。

以上の前進的局面を大きく評価するとともに、年度内結成に向けた最後のツメを行うことが決定された。そして、銚子支部に対しても、佐倉支部結成後直ちに決起できる体制をつくり、動労千葉への結集にむけて再度意志統一をはかってゆくこともあわせて確認した。

三里塚・反合闘争を軸に、80春闘を勝ちぬこう!

80春闘をめぐる動向については、全体として大巾上げどころか、労働組合の側からガイドライン(8%)を引くという前代未聞の屈服、春闘は実質的に崩壊的現状に立ちいたっている。

このような情勢のもと、動労千葉は、第一に80春闘を結成後、初めて独自に闘う重要な試練の場であることを全体で認識すること。さらに第二に労働運動総体が急ピッチで右傾化する中で、あくまでも原則的階級的立場をつらぬき、全国で決起しつつある労働者・大衆の大きな支えとなり、80年代を闘う新たな潮流の形成にむけて、奮闘すること。第三に現在も内房線で連日闘い抜いている「35万人体制粉碎」の反合・運転保安闘争と春闘

の結合なしに、80春闘の勝利はあり得ないこと。くわえて、政治反動と「本部」反動分子と対決し、勝利することなしに労働運動の戦闘的再生はかちとることはできないこと。以上の基本的路線のもとに80春闘を三里塚・反合春闘として闘い抜くことを全体で確認したのである。

- その他決定・討議された内容
- (1) 整備民託問題。
 - (2) 仕業検査日勤化攻撃。
 - (3) 参議院議員選挙闘争。
 - (4) 第2回定期委員会。
 - (5) 組織強化、拡大の取組み。
 - (6) 当面する交渉事案。

当面する闘争スケジュール

- 三月二二日(土) 十時 動力車会館 動労千葉第二回定期委員会
- 三月二三日(日) 十時 動力車会館 動労千葉第一回青年部長会議
- 三月二三日(日) 九時半 代々木公園 80春闘勝利中央総決起集会
- 三月二九日(土) 十三時 本町公園 80春闘勝利千葉県労働者総決起集会

二期工事阻止・懐柔策粉碎・飛行阻止・廃港へ!

3.30 三里塚空港廃港 全国総決起集会

正午 三里塚第一公園
全支部で全力結集体制を確立しよう!